



◆人権・同和問題啓発標語◆

少しずつ
ふやしていこう
思いやり
解放文化祭展示作品

くらんど人権文化 センターだより

- 発行 -

宝塚市立くらんど人権文化センター
住 所：宝塚市中野町22番19号
電 話：0797-73-2222
FAX：0797-73-2223
～差別解消と人権学習の場～



本年もくらんど人権文化センターをよろしくお願いいたします。

今年で48回目を迎えたくらんど解放文化祭は「気遣う心を大切に、差別のない社会をつくろう」をテーマとして10月24日(木)25日(金)の2日間にわたって開催しました。文化祭当日はもちろん、準備から片付けまでご協力いただいた、たくさんの方々に御礼申し上げます。

文化祭では、定例講座受講生の作品展示や登録団体の日頃の活動成果の発表をはじめ、プラスバンド演奏、人権問題講演会、和太鼓演奏や市内保育所・小・中学校の作品展示など多彩な催し物が開かれました。

好天にも恵まれ、2日間で大人792人、子ども1,331人、合計2,123人の方にご来場いただきました。

展示・催し

育児プラスバンドたんぽぽ団



手話教室 手話歌



くらんど手話輪 手話歌など



婦人会 昔の食試食会



わくわくまつりの創造



わくわく子ども太鼓



民踊友の会 みんなで踊ろう



文化祭 アンケートより

良元コミュニティ 喫茶すみれ



体験版 生命の貯蓄体操



ビンゴゲーム



人権問題講演会 講師：柴原浩嗣さん



和太鼓集団「熱光」



ミニ消防車と園児たち



- ・パネル展示にはドキッとさせられたとともに、とても大切な問題を分かりやすく展示して下さり、とても勉強になりました。
- ・パネル展示がとても分かりやすく、何気ない一言で誰かを傷つけてしまっていないか、改めて見直す機会になりました。
- ・初めて一人ではなく、後輩と見に来ていろいろと深まりました。声をかけあって地域にこちらから足を運びたいです。
- ・小学生の子たちと一緒に見学しましたが、活発に話しながら見学していました。こういう機会は幼いころに貴重だと思います。
- ・時代の変化にともない、差別のやり方がどんどん複雑になってきています。私の知らないところでも起きている・・・それを多くの人に知ってもらうためにも文化祭は必要である。
- ・一日かけないと見きれないボリュームでした。茶がゆも美味しかったです。
- ・1日目も食べ物屋をだしてほしい。
- ・今日はこういう場があると知り、もっと知らない人にも知ってもらいたいなと思いました。
- ・地域の力やつながりを感じました。
- ・小学生の見学時に「友達の名前を見つけて、すごい!!」と喜ぶ様子を見て感動しました。
- ・子ども達が考える人権(作文など)が、びっくりするような内容でよく分かってるなあ～と思いました。